

## 特定健診・特定保健指導の実施状況について

## 1 特定健診・特定保健指導の概要

国の医療制度改革の一環で、平成 20 年度から各医療保険者に義務づけられた事業。メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診を実施し、必要な人に保健指導を実施する。

## 2 目的

糖尿病等の生活習慣病を予防し、健康と長寿を確保するとともに、将来の医療費の伸びを抑制する。

## 3 福岡市での実施状況

■ 実施時期：通年で実施

■ 対象者：40～74 歳の国民健康保険被保険者

■ 実施機関：各区保健福祉センター、市健康づくりセンター、委託医療機関

■ 本人負担：500 円（市民税非課税世帯の人、70 歳以上の人無料）

■ 概要：健診結果に基づき、リスクに応じた保健指導を実施、生活習慣の見直しを促す。（保健師等による面接・電話相談など）

■ 健診内容：身長・体重・腹囲測定・血圧測定・血液検査（中性脂肪、コレステロール、空腹時血糖、貧血、肝機能等）・尿検査・心電図検査・問診等

■ 福岡市国民健康保険特定健康診査の目標受診率と実績

区分	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
目標受診率	20%	30%	40%	50%	65%
実績受診率	15.2%	16.7%	18.8%	6.1%	
受診者数	30,193 人	32,917 人	37,201 人	13,837 人	

※平成 23 年度は 9 月末現在の速報値（前年 9 月末受診率 6.3%、受診者数 13,793 人）

※特定保健指導は実施率 45%、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少率 10%を 24 年度の目標としている。

## 4 特定健診受診率向上の取組

■ 啓発の充実

コールセンターやダイレクトメールによる個別の案内や、各区役所、地域団体及び医療機関等と連携し、特定健診の愛称（「よかドック」）を使用しながら、多様な広報による普及啓発に努めている。

23 年度からは、受診の習慣化を目指して、誕生日前後での受診を推奨。また、企業等と連携した受診促進キャンペーンを実施中。

■ 健診内容の充実

22 年度 4 月から、心電図と貧血検査を受診者全員に実施するなど健診内容を充実

■ 受診しやすい環境づくり

がん検診との同時実施の推進や日曜・祝日に受診できる機会の拡大に努めている。

## 福岡市のがん検診事業について

## 1 検診概要

検診名	内容	検診場所	対象者	自己負担金
胃がん	バリウムによる胃透視	保健福祉センター, 健康づくりセンター, 公民館等	満 35 歳以上	600 円
	胃透視又は内視鏡検査	実施医療機関	満 40 歳以上	1,800 円
大腸がん	便潜血検査	保健福祉センター 健康づくりセンター 実施医療機関 等	満 40 歳以上	500 円
子宮頸がん	子宮頸部の細胞診 (受診は2年度に1回)	保健福祉センター, 健康づくりセンター, 公民館等	満 20 歳以上の女性	400 円
		実施医療機関		1,200 円
乳がん	視触診とマンモグラフィ併用検診 (受診は2年度に1回)	保健福祉センター, 健康づくりセンター	満 40 歳代の女性	1,300 円
		実施医療機関		1,500 円
		保健福祉センター, 健康づくりセンター	満 50 歳以上の女性	1,000 円
		実施医療機関		1,200 円
肺がん・結核	胸部 X 線撮影	保健福祉センター	満 40 歳以上	無料
	喀痰細胞診検査		満 50 歳以上のハイリスク者	700 円
前立腺がん	PSA 血液検査	実施医療機関 (10 月・2 月のみ実施)	満 55 歳以上の男性	1,000 円

※ハイリスク者：喫煙指数（1 日本数×年数）600 以上、又は、6 ヶ月以内に血痰があった人

## 2 受診率推移

		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
胃がん	受診者数	29,210 人	29,840 人	29,864 人	29,845 人	31,874 人
	受診率	8.5%	8.5%	8.3%	8.1%	8.5%
大腸がん	受診者数	26,535 人	27,385 人	24,981 人	24,752 人	26,561 人
	受診率	7.0%	7.1%	6.4%	6.2%	6.5%
子宮頸がん	受診者数	37,439 人	45,027 人	43,350 人	544,419 人	57,574 人
	受診率	31.2%	27.9%	29.6%	32.4%	36.7%
乳がん	受診者数	8,995 人	13,124 人	14,503 人	20,882 人	20,449 人
	受診率	9.9%	9.7%	11.9%	14.9%	17.1%
肺がん	受診者数	/	/	/	5,232 人	10,078 人
	受診率	/	/	/	1.3%	2.5%
前立腺がん	受診者数	4,966 人	4,852 人	5,857 人	6,468 人	8,107 人
	受診率	4.6%	4.4%	5.1%	5.7%	6.8%

※子宮頸がん：17 年度から対象年齢を 30 歳以上から 20 歳以上に引き下げ、受診間隔を 2 年度に 1 回に変更。

※乳がん：17 年度からマンモグラフィ検査を導入するとともに、対象年齢を 30 歳から 40 歳に引き上げ、受診間隔を 2 年度に 1 回に変更。平成 17～20 年度までは、別途 30 歳代を対象に視触診検診を実施。

※肺がん：H21 年度事業開始。H21 年度は 10 月～3 月の実施。

※前立腺がん：10 月及び 2 月のみの実施

## 平成23年度女性特有のがん検診推進事業について

### 1 事業の目的及び内容

福岡市が実施するがん検診について、女性特有のがん検診の受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及及び啓発を図るために、特定の年齢に達した女性に対して、子宮頸がん及び乳がんに関する検診手帳及び検診費用が無料となるがん検診無料クーポン券を送付するもの。

### 2 検診手帳及び無料クーポン券の対象者

平成23年4月20日現在福岡市に住民登録をしている以下の生年月日の女性

#### (1) 子宮頸がん検診 対象者数：約54,900人

年齢区分	生年月日
20歳	平成 2 (1990) 年4月2日～平成 3 (1991) 年4月1日
25歳	昭和60 (1985) 年4月2日～昭和61 (1986) 年4月1日
30歳	昭和55 (1980) 年4月2日～昭和56 (1981) 年4月1日
35歳	昭和50 (1975) 年4月2日～昭和51 (1976) 年4月1日
40歳	昭和45 (1970) 年4月2日～昭和46 (1971) 年4月1日

#### (2) 乳がん検診 対象者数：約49,900人

年齢区分	生年月日
40歳	昭和45 (1970) 年4月2日～昭和46 (1971) 年4月1日
45歳	昭和40 (1965) 年4月2日～昭和41 (1966) 年4月1日
50歳	昭和35 (1960) 年4月2日～昭和36 (1961) 年4月1日
55歳	昭和30 (1955) 年4月2日～昭和31 (1956) 年4月1日
60歳	昭和25 (1950) 年4月2日～昭和26 (1951) 年4月1日

### 3 事業期間（無料クーポン券の有効期間）

平成23年7月1日から平成24年3月31日まで

### 4 参考 ～これまでの実績～

<子宮頸がん>

	H21年度	H22年度
発送数	56,875枚	56,397枚
使用者数	9,613人	13,065人
使用率	16.9%	23.2%

<乳がん>

	H21年度	H22年度
発送数	50,439枚	50,638枚
使用者数	7,463人	8,545人
使用率	14.7%	16.9%

